

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	光楽苑	階数	地上2F
建設地	愛知県豊川市牛久保町高原101-1	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法22条指定区域	平均居住人員	60人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2016年5月12日
敷地面積	2,840㎡	作成者	谷山 勉
建築面積	1,556㎡	確認日	2016年5月12日
延床面積	2,898㎡	確認者	谷山 勉



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE=1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア= 2.8**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.2

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.3**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8

3 重点項目					
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>7.2 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	7.2 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	7.2 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.2</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>〈外装材に使用した地域性のある材料〉</p> <p>なし</p> <p>〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉</p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3-1 地球温暖化への配慮  
 ②資源の有効活用  
 Q-2-2 耐用性・信頼性、Q-2-3 対応性・更新性  
 LR-2-2 非再生性資源の使用量削減  
 ③敷地内の緑化  
 Q-3-1 生物環境の保全と創出  
 ④地域材の活用  
 Q-3-2 まちなみ・景観の配慮 4)地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								
<b>Q1 室内環境</b>								
<b>1 音環境</b>								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1.3 吸音								
<b>2 温熱環境</b>								
2.1 室温制御								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
<b>3 光・視環境</b>								
3.1 昼光利用								
3.2 グレア対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
<b>4 空気質環境</b>								
4.1 発生源対策								
4.2 換気								
4.3 運用管理								
<b>Q2 サービシ性能</b>								
<b>1 機能性</b>								
1.1 機能性・使いやすさ								
1.2 心理性・快適性								
1.3 維持管理								
<b>2 耐用性・信頼性</b>								
2.1 耐震・免震								
2.2 部品・部材の耐用年数								
2.4 信頼性								
<b>3 対応性・更新性</b>								
3.1 空間のゆとり								
3.2 荷重のゆとり								
3.3 設備の更新性								

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>								
1 生物環境の保全と創出	独自③			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			3.0	0.40	-	-	3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>								
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			3.0	0.50	-	-	3.0
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	3.0
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>								
<b>LR1 エネルギー</b>								
1 建物外皮の熱負荷抑制 BPI <sub>m</sub> =0.82								
1 建物外皮の熱負荷抑制				4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用								
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化								
3 設備システムの高効率化				4.0	0.30	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI <sub>m</sub> =0.81		4.0	1.00	-	-	4.0
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	-
4 効率的運用								
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	3.0
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	3.0
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	3.0
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	3.0
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	3.0
<b>LR2 資源・マテリアル</b>								
1 水資源確保								
1.1 節水		省水型の衛生機器を採用している		4.0	0.40	-	-	4.0
1.2 雨水利用・雑排水等の利用								
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	3.0
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67	-	-	3.0
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	3.0
2 非再生性資源の使用量削減								
2.1 材料使用量の削減				3.5	0.63	-	-	3.5
2.2 既存建築躯体等の継続使用				2.0	0.07	-	-	2.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	②	-		3.0	0.24	-	-	3.0
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	集成材、合板、ビニル系床材		3.0	0.20	-	-	3.0
2.5 持続可能な森林から産出された木材				5.0	0.20	-	-	5.0
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている		2.0	0.05	-	-	2.0
				4.0	0.24	-	-	4.0
3 汚染物質含有材料の使用回避								
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	3.0
3.2 フロン・ハロンの回避								
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68	-	-	4.0
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0、GWP=1の材料を採用している(SK/フロンエコカワロ参照)		5.0	0.50	-	-	5.0
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	3.0
<b>LR3 敷地外環境</b>								
1 地球温暖化への配慮								
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2概算値:84%		3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮								
2.1 大気汚染防止				2.0	0.33	-	-	2.0
2.2 温熱環境悪化の改善				1.0	0.25	-	-	1.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.0	0.50	-	-	2.0
1 雨水排水負荷低減	独自			3.0	0.25	-	-	3.0
2 汚水処理負荷抑制				-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制	独自			3.0	0.33	-	-	3.0
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	3.0
3 周辺環境への配慮								
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.33	-	-	3.0
1 騒音	独自			3.0	0.40	-	-	3.0
2 振動	独自			3.0	0.33	-	-	3.0
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	3.0
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	3.0
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	3.0
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	3.0
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	3.0
3.3 光害の抑制								
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.20	-	-	3.0
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.70	-	-	3.0
				3.0	0.30	-	-	3.0

**重点項目スコアシート**

光葉苑

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.6</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.2</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.9	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.5	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>3.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:7.2%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開口上部に庇を設置し、夏期における日射遮蔽効果を高めた。</li> <li>■ 空調負荷の低減、自然エネルギーの有効利用に努めた。</li> </ul>
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外壁周り、屋根スラブ下に断熱材を施工することで外皮性能の向上を図った。</li> <li>■ 開口上部に庇を設置し、開口部からの過大な日射の侵入の抑制を図った。</li> </ul>
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空間的にゆとりのある計画とした。</li> <li>■ 将来電気設備が増設されても対応できるよう配慮した。</li> </ul>
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域住民の憩いの場となるようアプローチに庇や植栽を設けた。</li> </ul>
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 省エネルギー機器を積極的に採用した。</li> </ul>
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 再生材を積極的に利用した。</li> </ul>
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外灯をタイマー制御するなど光害に対する配慮をしている。</li> </ul>
その他	<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>